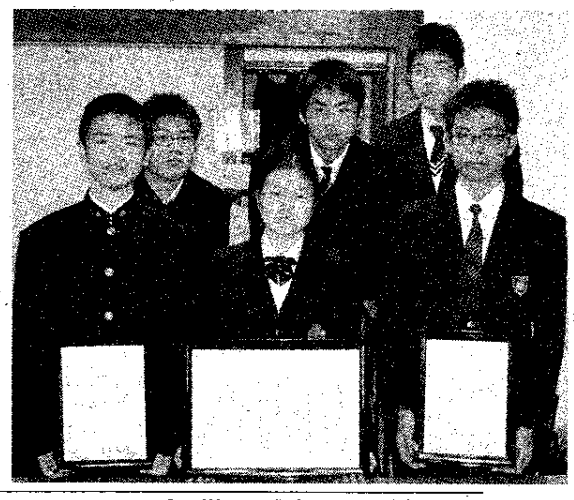
高校生ビジネスプランコンテスト

富士宮高校会議所が準グランプリに輝く



表彰状、商標登録証を手にする会員

富士宮市内5校の高校生が連携し、高校生の視点で町おこしを目指す「富士宮高校会議所」は、常葉大学経営学部主催の「第5回高校生ビジネスプランコンテスト」で活動内容や組織の目的などが評価され準グランプリ・遠州信用金庫賞に輝いた。

同コンテストには全国の高校から約50チームの応募があり、同会議所は昨秋の書類選考を通過。今年2月19日に同大学浜松キャンパスで行われた最終審査のプレゼンテーションには13校が出場し、同会議所は全国2位に選ばれた。

同会議所は会員26人で構成され、最終審査には代表4人が出場。プレゼンテーションの1組当たりの持ち時間は質疑応答1分、交代1分を含め10分。同会議所は「富士宮をさらに活性化しよう」をテーマに、組織の目的やにしの市などイベント参加、姉妹都市の高校との連携など昨年の活動を発表した。

大会に出場した次期会頭の中村真緒さん（富士宮東高2年）は「他校の堂々とした発表を聞き、自分たちの発表直前までうまくできるか心配だったが、思い描いていた通りに発表できた。準グランプリに選ばれたことは、今までの努力と成果が実った証しでもある。これを機に会員を増やし、地域に貢献するためのビジネススキルを高めたい」と意気込みを見せた。

なお、同会議所は「富士宮高校会議所」と「日本高校会議所」の文字が商標登録され、特許庁から登録証が授与された。

シルバーグランプリ受賞を報告

富士宮やきそば学会が須藤市長に

2017東海・北陸B－1グランプリin富士

盾と賞状を手に報告に訪れた富士宮やきそば学会メンバー

2月11、12の両日、富士市で開催された「2017東海・北陸B－1グランプリin富士」の人気投票でシルバーグランプリを獲得した富士宮やきそば学会（渡辺英彦会長）のメンバーが3日、須藤秀忠富士宮市長を訪れ、受賞を報告した。

東海・北陸エリアB－1グランプリには2日間で16万7000人が来場。ゲストを含め21団体がそれぞれの街の魅力をPRした。富士宮市は同学会が『富士宮やきそば』とともに、富士宮市の自然や特産物を紹介。箸重量1万5937㌘で東海・北陸支部開催では初めての入賞となった。

同日は同グランプリで活躍したメンバーが出席。富士ひのきでできた賞状と、富士山をかたどった箸置きと大きな箸の盾を持参し、須藤市長に披露した。

渡辺会長は「全国的にも認知度が高めの『富士宮やきそば』ですが、今回の入賞は東京でのイベント以降、会員や行政が一丸となってシティープロモーションをしてきた成果が出てきた証拠ではないでしょうか」と感想を述べた。須藤市長は「学会メンバーやまちおこしに取り組む人たちが一丸となった結果。『富士宮やきそば』はシティープロモーションの大きな力となっている。これからも協力し合い、共に富士宮市をPRしていきましょう」と感謝を述べた。

模擬投票で選挙を体験

北山小で出前講座 6年生対象に

富士宮市立北山小学校（鈴木美和子校長）で3日、富士宮市出前講座が行われ、同校6年生40人が模擬投票などを体験した。

社会科の中で政治について学んでいる同校児童は、富士宮市議会の見学なども行い、選挙や行政の仕組みなどに興味を深めている。

出前講座では、同市選挙管理委員会事務局職員が講師となり選挙や投票について語ったほか、本物の投票箱などを使った模擬投票を行った。

同事務局職員の高橋弘典さんが、選挙の種類や18歳選挙が始まっていること、富士宮市の投票率が下がっていることなどを説明。「若い世代が投票に行っていない。でも立候補する人や政治家の皆さんは、若い世代の人の意見を反映した政治をしたいから、18歳選挙をという声を上げた。皆さんも、今からお父さん、お母さんと一緒に投票所に出掛けて雰囲気を知り、18歳になったら投票に行ってください」と訴えた。

模擬投票では「北山市長選挙」を想定し、4人の立候補者から投票する人を選び模擬投票に臨んだ。選挙で実際に使われている投票箱などを使い投票した後は、開票の様子も見学。児童は票を数える機械や開票などの様子に興味を持ち、「選挙に参加できる年齢になったら、投票場に行ってみたい」と話していた。

同出前講座は西富士中学校、芝川中学校でも行われる。

模擬投票する児童

富士工業技術センター

CNF応用など研究発表会

14日、7演題で

富士市大淵の富士工業技術センターは、14日午後1時25分から同センター大研修室で新素材セルロースナノファイバー（CNF）の応用などの研究発表会を開く。製紙科4演題と機械電子科3演題の合わせて7演題で口頭発表するほか、研究内容をまとめて掲示するポスターセッションを行う。参加無料。

県新成長戦略研究・CNFによる地域産業の活性化がテーマの発表は午後1時30分から。「全体の計画と進ちょくについて」では、紙に応用するための基礎研究と用途開発に向けた取り組みを紹介する。

「CNF塗工紙の作製・評価」では、塗工による透気抵抗度と平滑度の向上について発表。CNFを使って紙力を向上させる内添紙への利用についても報告する。

一方、再生紙トイレットペーパーに新聞古紙を利用し、原料・収益の安定化を図る研究発表では、新聞古紙を原料に混入した際、品質を回復する処方について報告する。

機械電子科の発表は午後3時から。2015年度まで実施した「介護用見守りシステム」の開発について、他分野でも応用したいとのニーズが寄せられたことから、応用展開の状況や県畜産技術研究所と取り組んでいる「牛の分娩検知への検討」について報告する。

見守りシステムで用いたセンサーを応用したマットを分娩房に設置し、牛の体動などによる波形データを取得。周波数解析や波形処理などによる分娩前の特徴的な動きの検出、分娩検知の方法を検討した成果を説明する。

また、新型プラズマ処理装置の作製や、処理対象物表面にさまざまな特性を付与する技術開発について発表。装置の性能評価結果や今後の応用展開についても説明する。

問い合わせは富士工業技術支援センター（電0545－35－5195）へ。

富士宮市議会2月定例会

予算審査特別委を設置

富士宮市議会2月定例会は3日、本会議で総括質疑終了後に予算審査特別委員会を設置し、2017年度当初予算案を付託した。

休憩中に同特別委を開き、委員長に深沢竜介環境厚生委員長、副委員長に諏訪部孝敏総務文教委員長および小松快造産業都市委員長を互選した。

8、9両日に本会議場で同特別委を開き、当初予算案を慎重に審査する。

祝!!おめでとう

（2月28日～2日）

◇富士宮市

川浪志蕗（鞠実さん）粟倉
時田桜羽（恵明さん）大岩
佐野伍（昌俊さん）大鹿窪
村松夏向（誠さん）北山
深澤杏奈（陽さん）大鹿窪

◇富士市

松木日菜（翔太郎さん）蓼原
山川栞奈（輝康さん）久沢
和田心羽（隼幣さん）柚木
小形幹太（勇介さん）石坂
西悠真（元基さん）伝法
齋藤大幹（司弥さん）五貫島
鈴木陸仁（英俊さん）天間
遠藤壮峻（哲司さん）入山瀬
長船礼央（貴行さん）比奈
今枝真之（眞一郎さん）船津
大畠幾斗（章斗さん）厚原

「今だから見える答えを選択しませんか!」「あなただけの選択」をご提供します
総合商社
YABE SYOUJI
株式会社 矢部商事
不動産 売買・管理・相談
金 融 金融救急センター
富士宮市東町25番8号
☎(0544)27-3388(代)

腰痛、肩こり、膝痛、ストレスなど
遠藤療整院
富士宮市西町30-25(空手道場拳武館隣)
☎(0544)27-8043
午前9時～【予約制】 日曜祝日休み P有り

パティオホール 3月のパーティー

3月5日(日)	日曜パーティー	夜の部
3月11日(土)	16周年生バンドパーティー	夜の部
3月19日(日)	定例パーティー	夜の部
3月25日(土)	定例パーティー	夜の部
3月27日(月)	シニアパーティー(毎月最終月曜日)	1時～4時

☎(0544)59-1900
富士宮市北山5181-14
営業時間/昼11時～3時 夜7時～11時
定休 日/月曜日 貸切可